

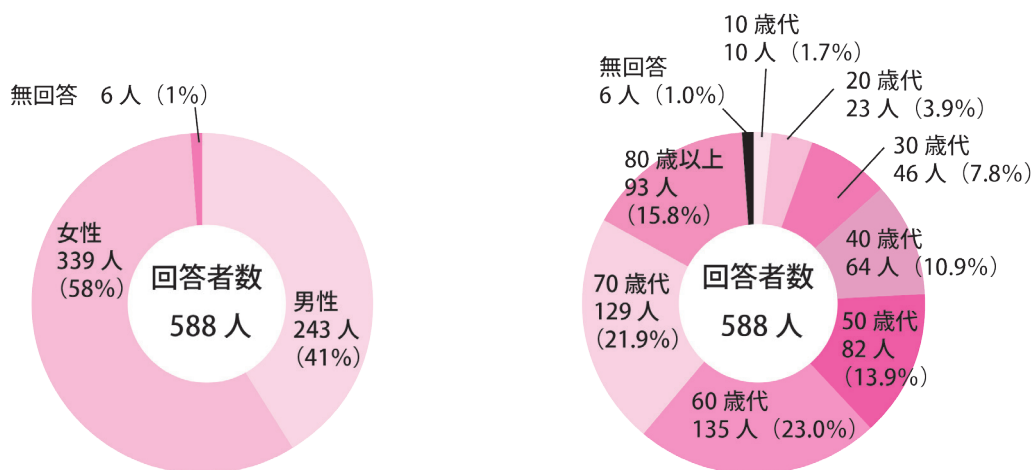
令和2年度

佐用町の広報・広聴に関するアンケート集計結果

基本概要

目的	「町民がどのような情報をどのような目的のために求めているか」「必要としている情報を的確に提供できているのか」など、町広報活動に対する意見を収・分析するため、広報広聴基本調査を実施した。
調査方法	町内に住民票を有する18歳以上の住民から無作為に1,000人を抽出し、アンケート用紙を郵送
回答期間	令和2年9月3日～30日 (※令和2年10月19日までに返送された回答を反映)
送付数	1,000通
回答数	588通 (回答率 58.8%)

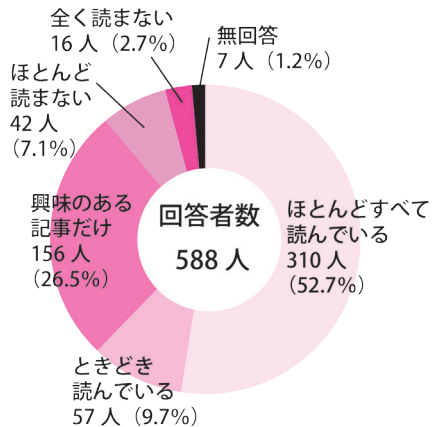
属性 性別・年齢



令和2年8月末時点の人口の男女比（男性48%、女性52%）を考慮すると、女性の回答率が高い。また、年齢別では60歳代の回答が最も多く、60歳代・70歳代・80歳以上が全体の約6割を占めている。

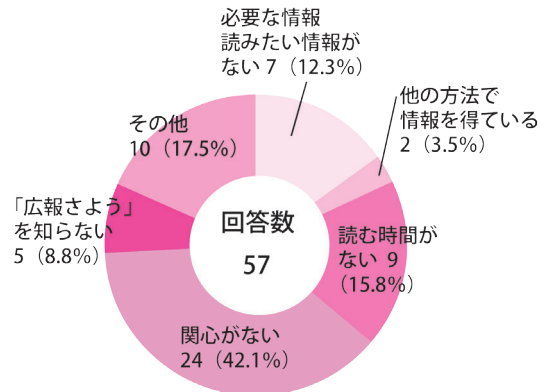
「広報さよう」について

Q：「広報さよう」をどれくらい読んでいますか



左の質問で「ほとんど読まない」「全く読まない」と答えた人への質問

Q：「広報さよう」を読まない理由は何ですか

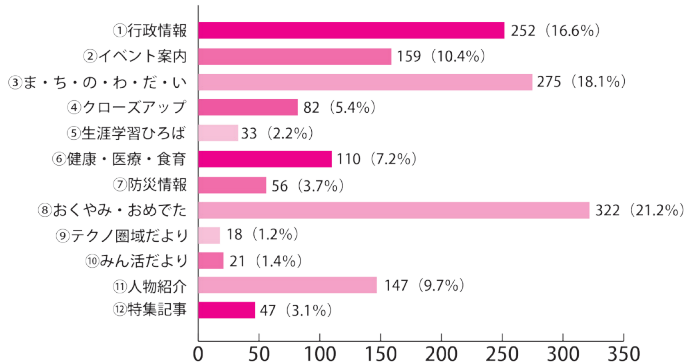


「その他」の意見

- ・自宅敷地内に2軒あるが1軒分しかこない
- ・2世帯なのでわざわざ見るのがめんどう
- ・目があまり見えない など

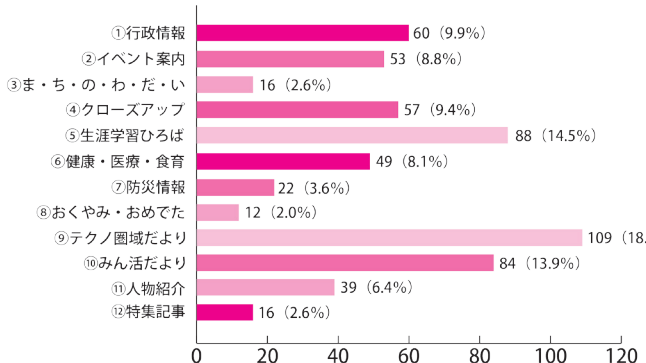
約半数が毎月「広報さよう」をすべて読んでいる。一方、ほとんど読まない・全く読まないと回答した人のうち、最も多い理由は「関心がない」となった。

Q：よく読む記事はなんですか



よく読む記事は「おくやみ・おめでた」が21.2%と最も多く、次いで「ま・ち・の・わ・だ・い」「行政情報」が多く身近な話題に興味を持って見られていることがわかる結果となった。

Q：ほとんど読まない記事はなんですか

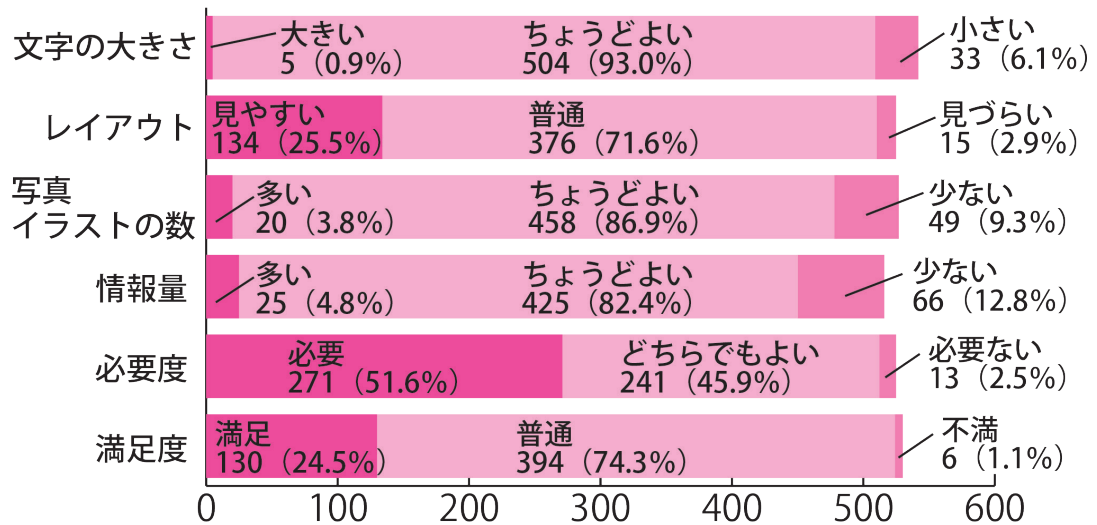


ほとんど読まない記事は「テクノ圏域だより」が18.0%と最も多く、次いで「生涯学習ひろば」「みん活だより」が多く、自分に対して接点のない記事には興味を持っていない結果となった。

※どちらも複数回答可

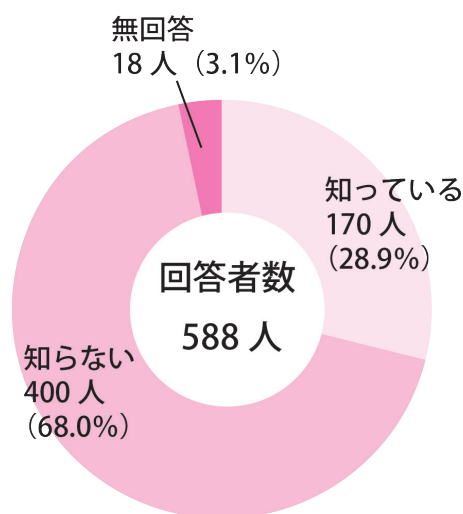
「広報さよう」について

Q:「広報さよう」の印象



ほぼすべての項目で「普通・ちょうどよい」と答えた人が7割以上、「必要度」については必要と答えた人が半数を超えるなど、情報発信の媒体が増えても、依然として広報紙の必要性が高いという結果となった。

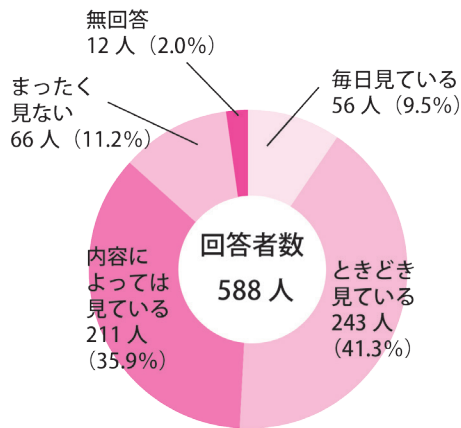
Q:「広報さよう」を町公式ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」で見られることを知っていますか



「広報さよう」を町ホームページやスマートフォンアプリで見られることを知っている人は3割に満たず、さらなる周知と方法を検討する必要がある。

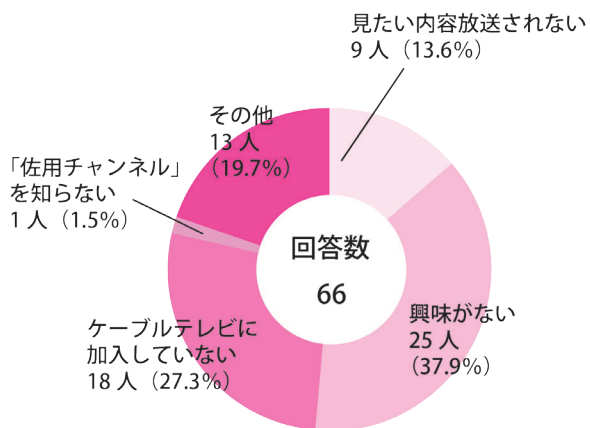
「佐用チャンネル」について ※姫路ケーブルテレビ (WINK) 加入者対象

Q:「佐用チャンネル」を
見えていますか



左の質問で「全く見ない」と答えた人への質問

Q:「佐用チャンネル」を見ない理由は
なんですか

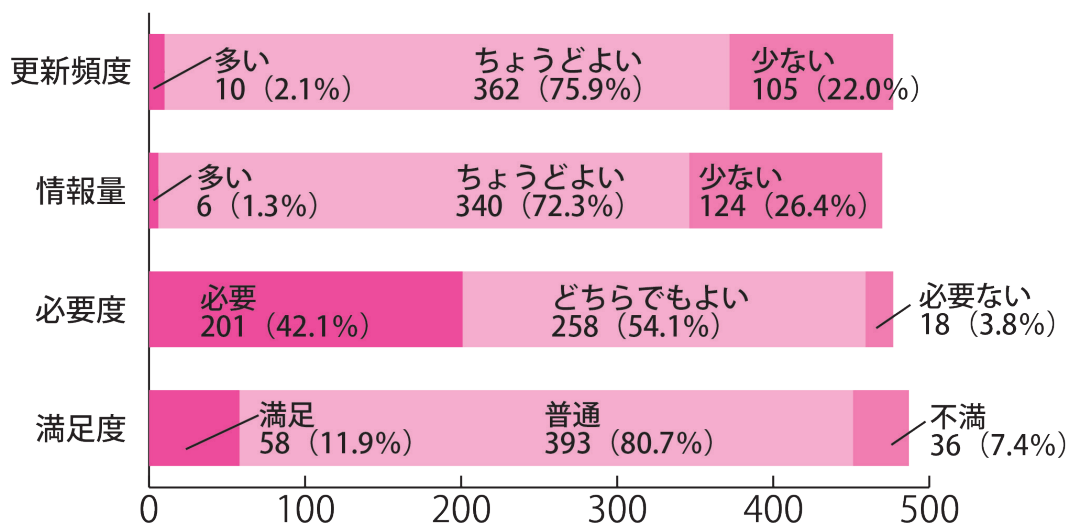


「その他」の意見

- ・テレビを見ない
- ・番組がわからない
- ・日中は町外で働いていて家にいない など

毎日・ときどき見ている人の割合が約半数となった。一方、全く見ないと回答した人のうち、「見たい番組が放送されない」「興味がない」が約半数という結果となった。できるだけ多くの住民を登場させることが興味を持ってもらうことにつながる。

Q:「佐用チャンネル」の印象

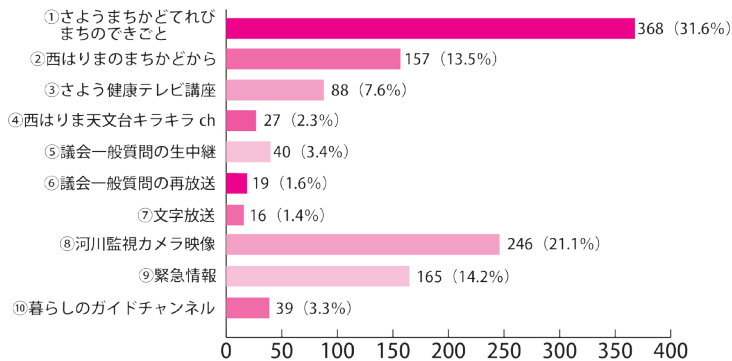


「ちょうどよい・どちらでもよい・普通」と答えた人が全項目で半数以上、「必要度」については必要と答えた人が42.1%という結果となった。情報量の「少ない」が26.4%と比較的多く、さらに内容を充実させる必要がある。

「佐用チャンネル」について

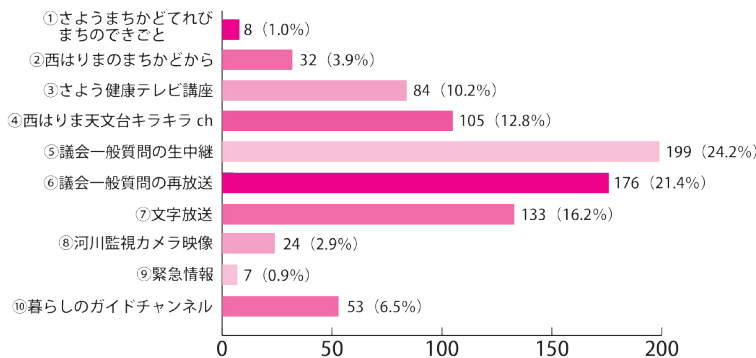
※姫路ケーブルテレビ (WINK) 加入者対象

Q：よく見る番組はなんですか



「さようまちがどてれび・まちのできごと」が31.6%と最も多く、次いで多いのが「河川監視カメラ映像」で21.1%という結果となり、町民が登場する番組、防災情報に関心が高いという結果となった。

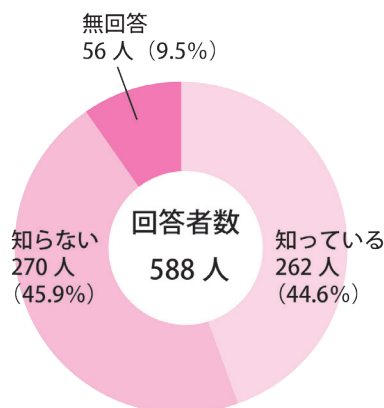
Q：ほとんど見ない番組はなんですか



ほとんど見ない番組は「議会一般質問の生中継・再放送」で合わせて45.6%、次いで「文字放送」「西はりま天文台キラキラch」が多いという結果となった。議会の様子を若い人にも興味を持ってもらえる切り口を考える必要がある。

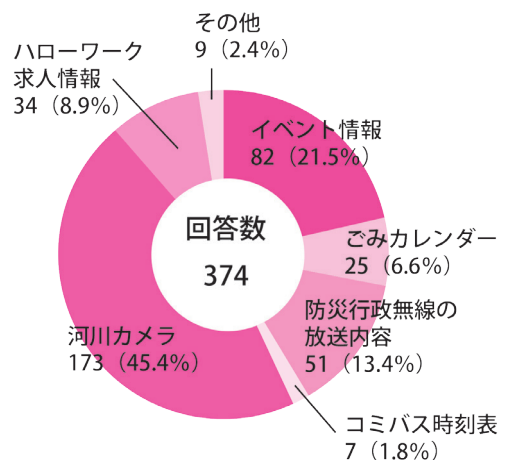
※どちらも複数回答可

Q：「佐用チャンネル」でリモコンのdボタンを押すとデータ放送が見られることを知っていますか



左の質問で「知っている」と答えた人への質問

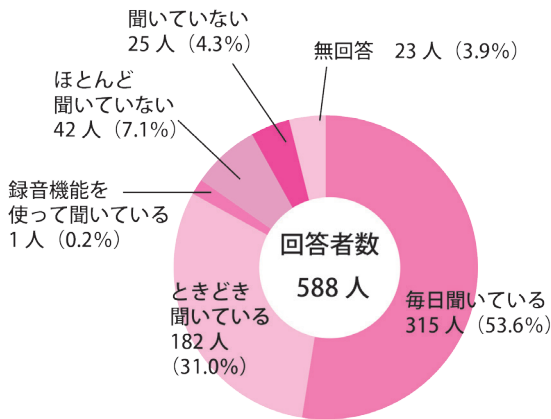
Q：データ放送でどんな情報を見られていますか



データ放送が見られることを知っている人と知らない人の割合はほぼ同じ。データ放送で見ている情報は「河川カメラ」が最も多く、次いで「イベント情報」が多いという結果となった。データ放送の活用方法を広く知らせる必要がある。

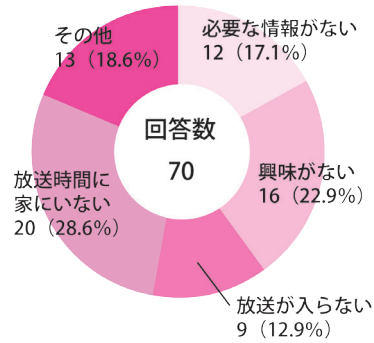
「防災行政無線」について

Q：「防災行政無線」を聞いていますか



左の質問で「ほとんど聞いていない」「聞いていない」と答えた人への質問

Q：「防災行政無線」を聞かない理由は何ですか

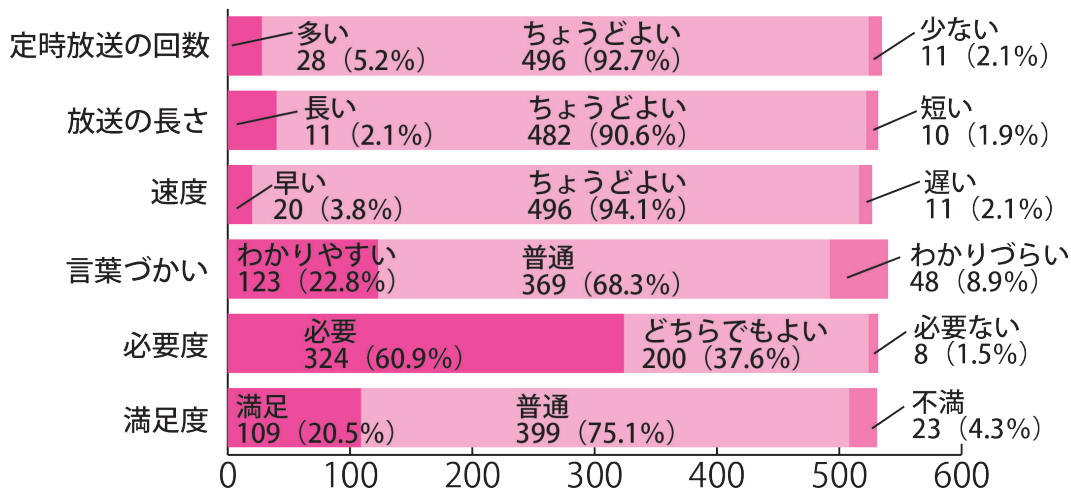


「その他」の意見

- ・緊急情報はスマホに入るから
- ・雑音が多く聞き取りにくい など

約半数が毎日「防災行政無線」を聞いている。また、ほとんど聞いていない・聞いていないと回答した人のうち、最も多い理由は「放送時間に家にいない」、次いで多いのが「興味がない」という結果となった。「留守録」などの機能を説明し、周知する必要がある。

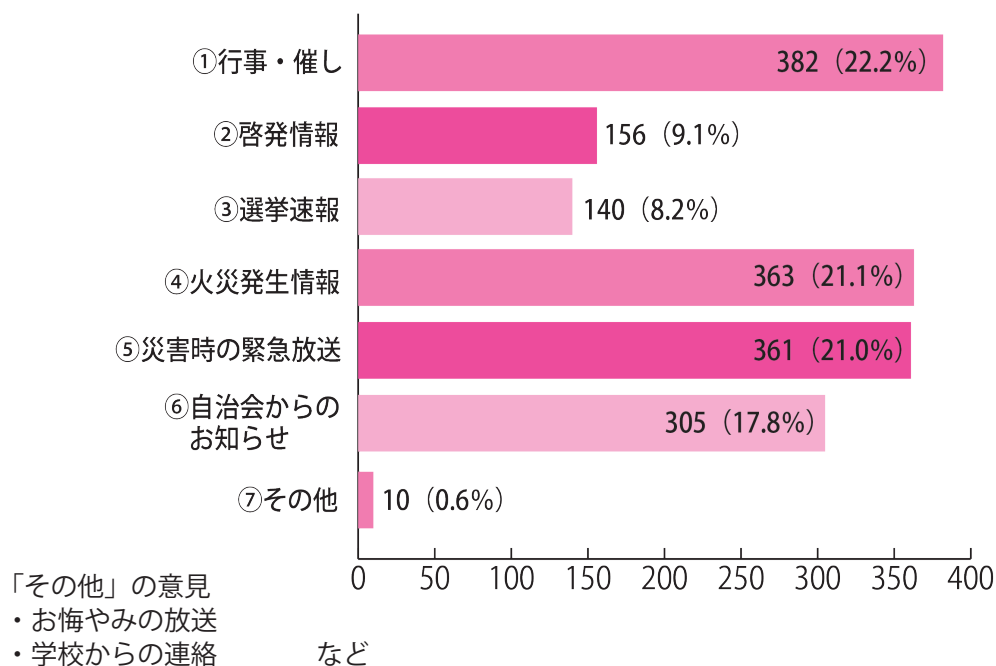
Q：「防災行政無線」の印象



ほぼすべての項目で「普通・ちょうどよい」と答えた人が6割以上、「必要度」については必要と答えた人が約6割となり、町民にとって防災行政無線の必要性が高いという結果となったが、残りの4割はどうしても必要ではないと回答していることから、情報伝達手段のあり方について検討する必要がある。

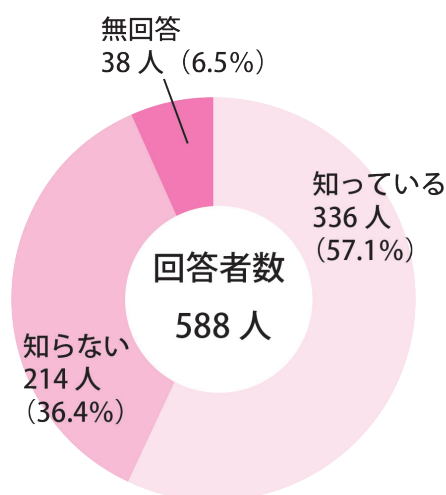
「防災行政無線」について

Q：「防災行政無線」でどんな情報を入手していますか。（複数回答可）



「行事・催し」の情報が 22.2% と最も多く、次いで「火災発生情報」「災害時の緊急放送」がほぼ同率の約 21% という結果となり、災害情報への関心が高いことがわかる。

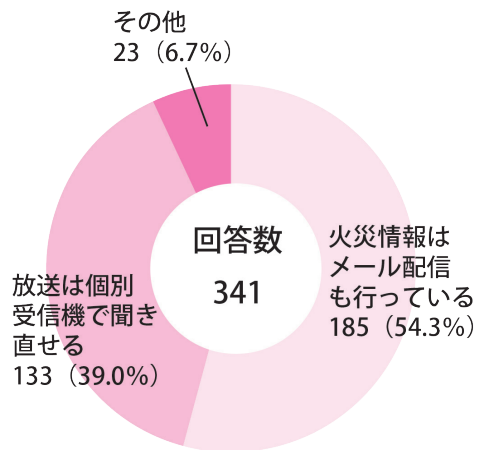
Q：火災の発生を町民のかたにいち早く知らせたり、消火活動にかかれるようにしたりするために、音声合成（機械で作った音声）でお知らせしていることを知っていますか。



火災情報を音声合成でお知らせしていることを知っている人は6割近くとなったが、4割近くの方が「知らない」と回答しており、さらなる周知が必要である。

「防災行政無線」について

Q：火災発生時の伝達方法について、次のことを知っていますか
(複数回答可)

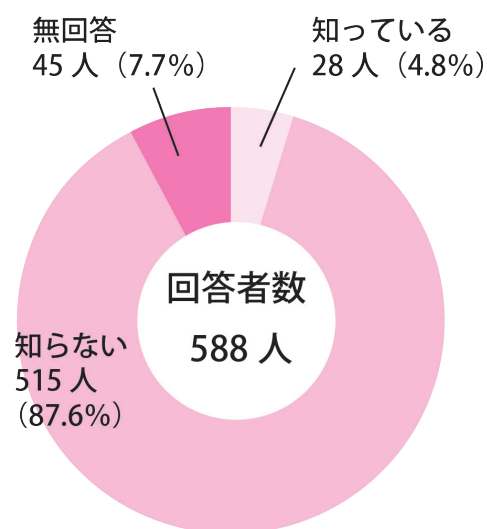


「その他」の意見

- ・防災行政無線の放送で知るだけ
- ・機械で作っている声をやめてください。大変聞きにくい
- ・知らない地名があるので集落名が聞き取りにくい
- ・にしまりま消防からの放送は全くだめ。消防本部に申し入れても聞き入れてもらえない。行政から申し入れてほしい
- ・音声がか中でも外でも全く聞こえないなど

火災情報をメールで配信していることは半数以上の人が、放送を個別受信機で聞き直せることを知っている人が約4割と、防災無線以外の方法や再度聞き直せることを知っている人が大半だったが、「合成音声聞き取りにくい」という声が多かった。

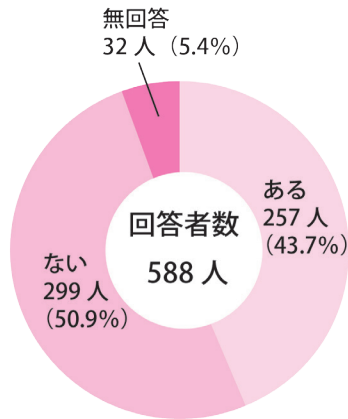
Q：電話で「防災行政無線」放送の内容が聞けることを知っていますか。



電話で「防災行政無線」放送の内容が聞けることを知っている人は5%に満たず、ほとんどの人が知らないという結果となった。改めて周知が必要である。

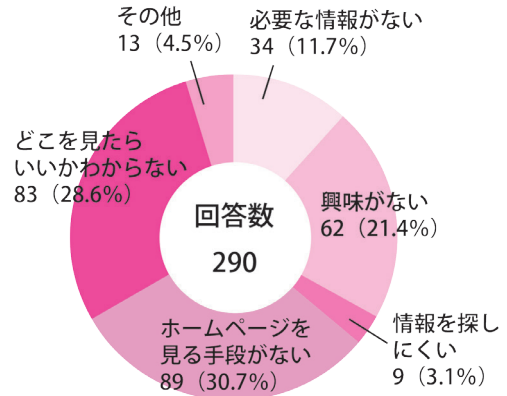
「町公式ホームページ」について

Q：今までに町公式ホームページを見たことがありますか



左の質問で「ない」と答えた人への質問

Q：「町公式ホームページ」を見ない理由はなんですか



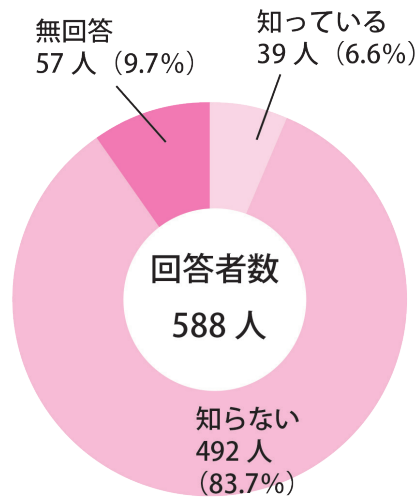
「その他」の意見

- ・存在を知らなかった
- ・今のところ広報さようと防災行政無線で情報は足りている
- ・パソコン・スマホがない など

「町公式ホームページ」を見たことがない人が約半数にのぼり、見ない理由については、「見る手段がない」「どこを見たらいいかわからない」が約6割という結果となった。改めて、ホームページのPRとインターネット環境のない町民への対応が必要である。

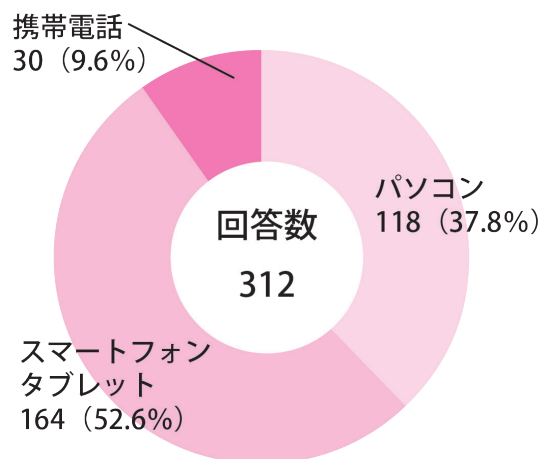
「町公式ホームページ」について

Q：町では、「お知らせ」をわかりやすく動画で説明しています。
動画コンテンツを YouTube で配信していることを知っていますか。



動画コンテンツを YouTube で配信していることを知っている人は 6.6%と、ほとんどの人が知らないという結果となった。改めて周知が必要である。

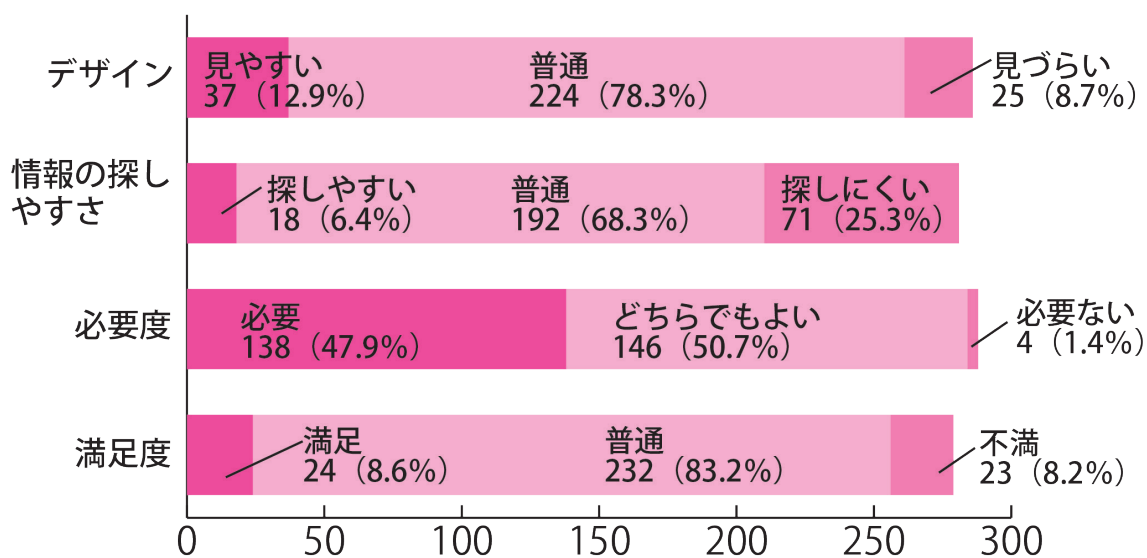
Q：何を使ってホームページを見ていますか。



スマートフォン・タブレットを使ってホームページを見ている人が約半数でパソコンの 37.8%を上回る結果となった。同時に、普段から持ち歩き、手軽に見ることができる媒体への依存が高いことがわかる。

「町公式ホームページ」について

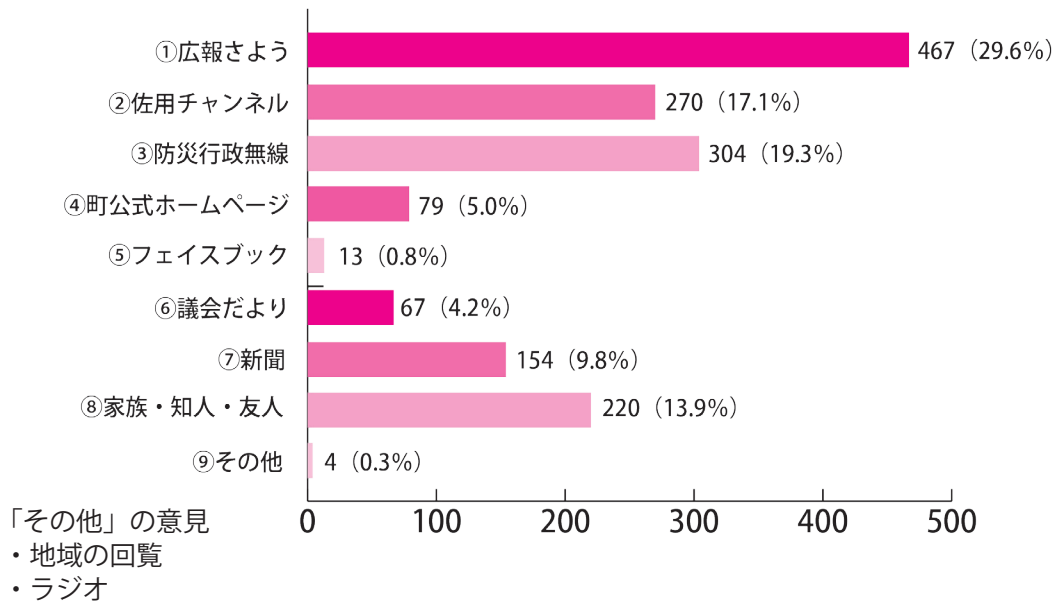
Q：「町公式ホームページ」の印象



「普通・どちらでもよい」と答えた人が全項目で半数以上、「必要度」については必要と答えた人が47.9%という結果となったが、「情報の探しやすさ」については、探しくないと答えたひとの割合が約25%と、改善の必要がある。

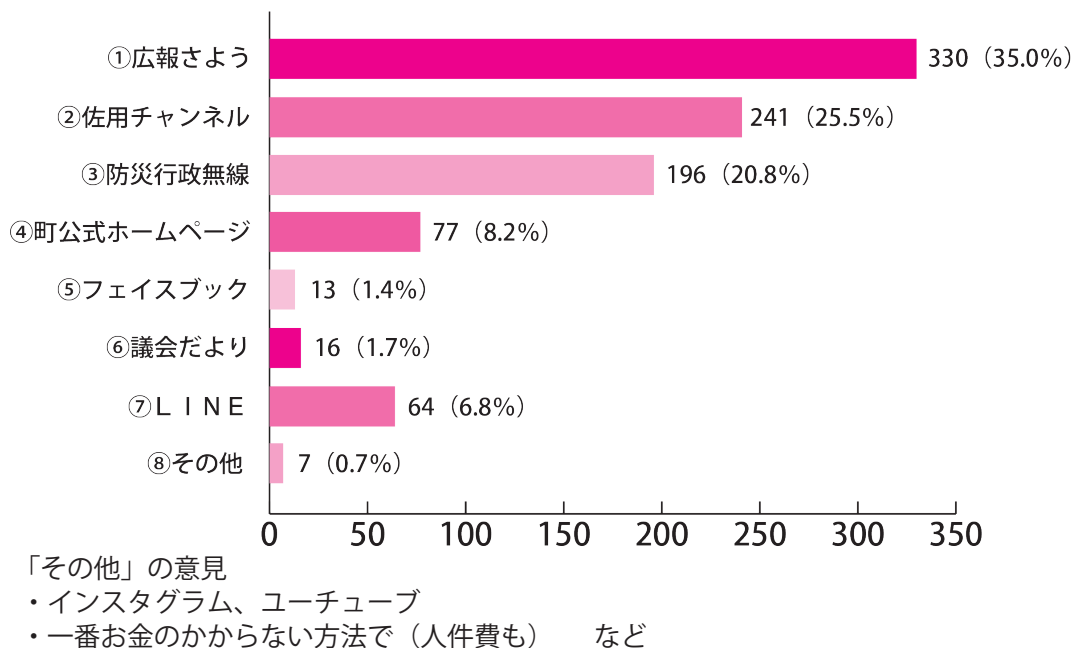
町の広報広聴活動全般について

Q：現在、町の情報をどこから入手していますか。（複数回答可）



情報の入手先は「広報さよう」「防災行政無線」「佐用チャンネル」の順に多く、行政の発信する情報以外では、「家族・知人・友人」が13.9%という結果となった。紙媒体の重要性が依然として高いことがわかる。

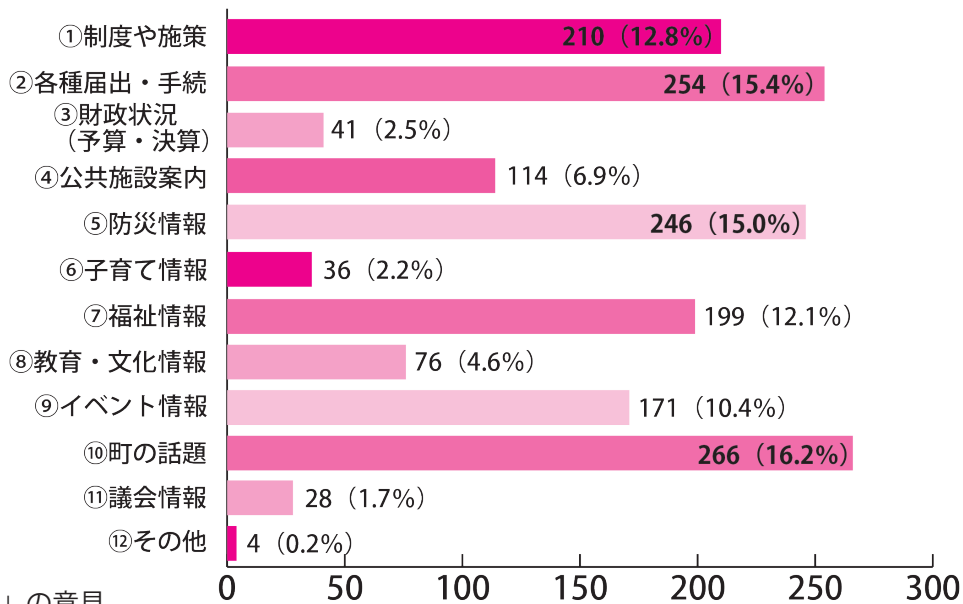
Q：今後、力を入れてほしい情報発信方法は何ですか。（2つまで回答可）



力を入れてほしい情報発信方法は「広報さよう」「佐用チャンネル」「防災行政無線」の順に多い。また、LINEが6.8%と町ホームページと同程度の要望があった。
※LINEは現在運用を開始しています。

町の広報広聴活動全般について

Q：町の情報で、特に知りたいことは何ですか。（複数回答可）

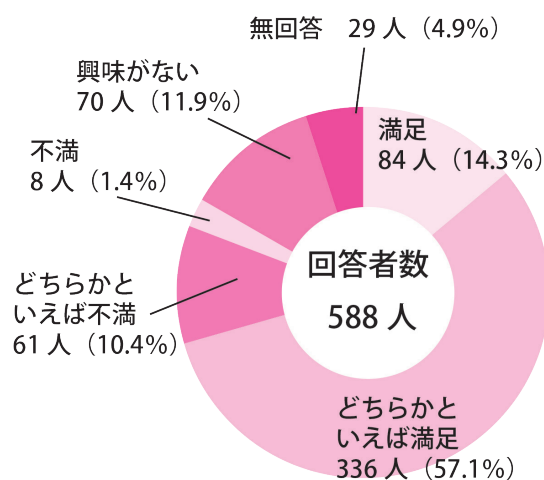


「その他」の意見

- ・お悔やみ情報をホームページで
- ・新たな補助がある制度など、暮らしの助けになる事業

特に知りたい町の情報には「町の話題」「各種届出・手続」「防災情報」がほぼ同割合で多く、「制度や施策」「福祉情報」など、生活に直接関わる情報に関心が高いという結果となった。

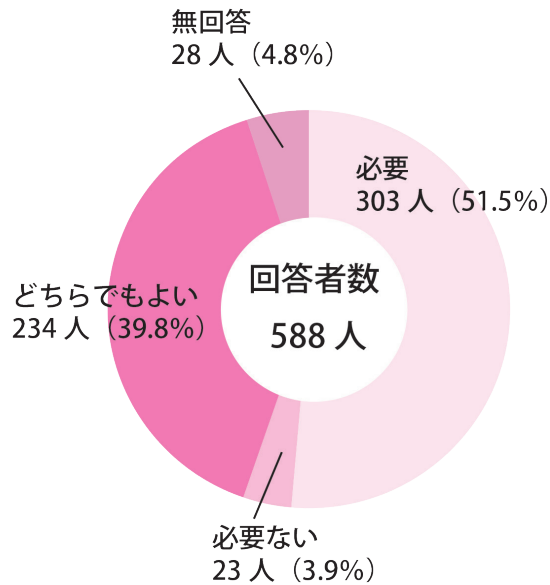
Q：町の現在の広報活動全般についてどう思いますか。



約7割の人が「満足」「どちらかといえば満足」と回答。また、「不満」「どちらかといえば不満」と「興味がない」がどちらも約12%の回答があった。

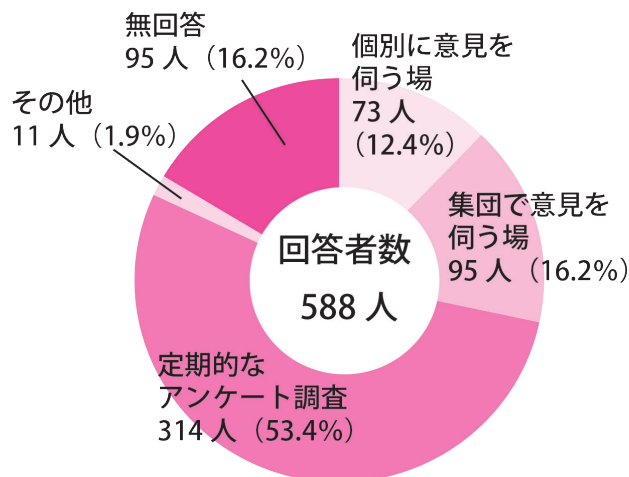
町の広報広聴活動全般について

Q：町民のみなさんから意見をお伺いする（広聴）の制度についてどう思われますか



広聴の制度について「必要」と答えた人が51.5%と、約半数という結果となった。町民の意見を取り込んだ広報活動が重要である。

Q：どのような形で広聴の場があると良いですか。



「その他」の意見

- ・ 理不尽な意見で行政を混乱させる人がいれば、無理にそういう場を設けなくてもいいと思う
- ・ ZOOMで
- ・ オンラインアンケート
- ・ ホームページに意見を書き込めるが、住民にわかりやすく知らせてほしい など

広聴の場について、定期的なアンケート調査が約半数と、アンケート調査への要望が多いという結果になった。定期的にアンケート調査を続けることが必要である。

町からのお知らせをさらに幅広く 知ってもらうための方法を集めました

広報さよう

「広報さよう」カラー版がインターネットやスマホアプリで読めます

町公式ホームページ

<http://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=1358>



スマートフォンアプリ「マチイロ」

<https://machiiro.town/>



インターネットサイト「ひょうごイーブックス」

<https://www.hyogo-ebooks.jp/>



佐用チャンネル(11ch)

「佐用チャンネル」でリモコンのdボタンを押すと
データ放送が見られます

※dボタンの位置はリモコンの機種ごとに異なります



防災行政無線

放送内容を後から聞き直せる「留守録」機能

本体の「留守録」ボタンを押して、家のマークが付くと録音します。「再生」ボタンを押すと録音した内容が流れます。



電話で「防災行政無線」の放送内容（定時放送・火災放送）を確認できます

防災行政無線放送内容確認ダイヤル **0790-82-2528**

動画コンテンツ

「町公式 YouTube チャンネル」で行政情報や健康情報を配信中

<https://www.youtube.com/channel/UCVLcj4YNewIXEGuiNhBOXGw>



LINE

「町公式LINE」の運営を開始し、友だちを募集しています。

登録はこちらから→



町の広報活動へのご意見・ご要望と回答（抜粋）

●・・・ご意見、ご要望 →・・・回答

●情報量が多過ぎて読み辛いと思います（あれもこれもと情報が多い）。

●簡潔明瞭に必要な情報だけをクローズアップして取り上げて欲しいと思いました。

➔紙面づくりについては、簡潔・明瞭に分かりやすく書くことを心がけています。一方で町民の中には情報源が広報紙のみのかたもおられるため、詳しく丁寧な説明も必要です。今後も、記事の内容、文章のまとめ方、レイアウトなどに気を配りながら、分かりやすい紙面づくりに努めます。

●このような紙の配り物は配るのも大変なので中止して欲しい。コロナの事もあり、配った人と話すことにもなるし、やめるべき。

●紙類、配り物は印刷代の無駄、減らすようお願いします。

➔今回のアンケート調査結果で、広報紙から情報を入手している人が最も多い結果となりました。現在、防災行政無線、町ホームページ、Facebook、LINE などさまざまな方法で情報を得ることができますが、依然として広報紙の重要性が高いことも事実です。引き続き、町民のニーズを把握しながら情報伝達の方法を検討していきます。

●最近インターネットが急速に促進、ついていけなくなっている。今だからこそ、紙で出版される「広報さよう」はありがたい。後から、あれはどうだったかなあとひっぱり出してゆっくり見ることができるので。

●ホームページにスマホ、アプリなど高齢者にはできない。最新のものだけでなく、できない人にわかるようにしてほしい。

●毎月、楽しみに読ませていただいております。「広報さよう」は紙の媒体なので、形として手元に残ります。ゆっくりと落ちついて読むことができます。少し長めの文章も読みやすいと思います。ありがとうございます。

●ホームページで掲載していても丁寧なお知らせを願いたい。

●知りたい情報はすぐにインターネットで得ているが、広報さようなどは必要な情報誌だと思う。毎月楽しく読ませていただいております。いつも、ありがとう。

●この機会に改めて「広報さよう」を見返してみました。生活に必要な情報もしっかり載っているし、表紙や笑顔の輪、わが家のアイドルにも癒されていました。これだけの冊子を毎月出版されるのは大変なことと思います。これからもがんばって下さい、楽しみにしています。

➔応援していただきありがとうございます。今後も、町民の方にとって必要な情報を少しでも多くお届けするために、より良い紙面づくりに取り組んでまいります。

●佐用町内でのいわれのある土地とか、昔の写真比べなど取り上げたら面白いのではないかと思います。

➔不定期の連載コーナー「わがむらじまん」では、町内にある数々の旧所・名跡、風景などを紹介しており、これまでに49回連載しています。今後も、町民のかたがまだ知らない名所や穴場を取り上げ、皆さんにお届けしていきます。

●年齢を重ね、健康に関する記事は特に気になります。また、税金のことも欠かせないことなので、わかりやすくしてもらって助かっています。

（次ページに続く）

➡町が合併した平成17年から、「健康コーナー」を毎月連載しています。また、今年度から「シリーズ税」「町民税・県民税の基礎知識」として、税の基礎的な内容をお知らせしています。これからも、町民に役立つ法律や制度などについても積極的に情報発信してまいります。

●これからも地域の話や情報を取り上げてほしいです。地域の情報源になっています。これからもよろしくお願いいたします。

➡コロナウイルス感染予防のため、各地で行事やイベントの中止が相次ぎ、なかなか地域の話をお届けしづらい状況ですが、このような現状であるからこそ、今までクローズアップされてこなかった話題にも注目しながら、情報提供していきたいと考えています。

●おくやみ、おめでたは個人情報のため中止した方がよい。

➡「おくやみ・おめでた」の記事は、出生・死亡の手続きの際に意向を確認したうえで掲載しています。個人情報の取扱いが厳しくなる中ではありますが、今回のアンケート結果でも広報紙で最も読まれている記事は「おくやみ・おめでた」でした。引き続き、多くの町民が必要とする情報として、ご家族の申請に基づき掲載してまいります。

●カラー写真を増やしてほしい。

➡現在の広報紙は、表・裏表紙のみがカラー刷りとなっています。これ以外では、特集記事や重要記事を掲載する場合にカラーページを採用することがあります。また、町公式ホームページ、スマートフォンアプリ「マチイロ」ではカラー版の「広報さよう」が確認できますのでご覧ください。

●町の施策の紹介。せっかくいい制度がたくさんあるのに、あまり町民に知られていない。

➡町民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、できるだけ多くの情報をお届けするため、関係課と連携し情報発信に努めてまいります。町では、令和元年度から佐用チャンネルで「暮らしのガイドチャンネル」という行政情報番組を放送しています。また、YouTubeの佐用町公式チャンネルでも同番組を配信していますので、ぜひご活用ください。

●カタカナ語が多すぎる。もっと日本語を使って。

➡ご意見のように、最近はパソコンの普及などカタカナを使う機会が増えています。一般的に馴染みのない広く知られていないカタカナ語の使用が目立っており、町としてもこのような分かりづらい言葉の掲載は問題だと考えています。今後は、日本語に置き換えられる言葉は日本語で表記し、適切な言い換えができないものは、注意書きを加えるように努めていきます。

●100歳体操の放映をコロナウイルスが終わってもテレビの放映を続けてほしい（毎日だけでなく週1回程度）足が不自由で集会所へ行くのにも不便ですのでよろしくお願いいたします。

➡限られた放送時間枠ではありますが、番組の内容や回数、時間などを関係部署と調整しながら、できる限り町民の方のニーズに応えることができるよう番組編成に努めます。

●地域によって活動、行事などの差があるので、活動の少ない地域も紹介してほしい。

●毎回同じような行事ばかりなので、新しいことを心がけて取り上げてほしい（毎年、同じ時期に同じ内容だと思う）。

（次ページに続く）

➡今後は、取材方法や内容を精査し、広報紙・佐用チャンネルともに、これまで取り上げることができなかった地域の行事や話題の中から、地域間のバランスを考慮しながら情報を提供できるように検討を重ねます。記事の提供や取材のご希望があれば、ぜひ広報室までご連絡ください。【☎82-2549】

●防災無線の内容を佐用チャンネルでも確認できるようにしてほしい。

➡佐用チャンネルでは、データ放送で防災行政無線の放送内容をご確認いただけます。佐用チャンネル（11ch）の視聴中に、リモコンの「dボタン」を押していただくとデータ放送が表示されますので、「新着情報」や「まちからのお知らせ」からご確認ください。

●いつどんな放送されているのかわからない。

➡佐用チャンネル（11ch）の番組表は、町公式ホームページ、同チャンネルの文字放送、データ放送、テレビの番組表からご確認ください。

●佐用へ移住されている人たちの日常。

➡広報さよう「令和2年6月号」で、町内に移住したかたへのインタビュー記事を掲載しています。また、YouTubeの町公式チャンネルでは、移住促進PR動画を配信しており、その中で実際に移住されたかたのインタビュー動画もご覧いただけます。今後も移住されるかたの増加が見込まれますので、関係課と連携しながら継続的に紹介できるよう検討します。

●地域おこし、町の活性化につながる内容。

➡地域おこしの主役は町民のみなさんです。広報室では、広報紙・佐用チャンネルで今後もこれまでに町民の皆さんが実践された活動や新たな取り組みなどの情報を収集し、お知らせする予定です。また、広報紙の連載コーナー「みんなの『地域づくり協議会』活力向上プロジェクト（みん活）」では、各地域づくり協議会の取り組みを掲載していますので、ぜひご覧ください。

●不要なインタビューが多い。

➡番組の趣旨や内容に応じて適切なインタビューが行えるように、今後はレポーター研修の実施や、インタビューの方法や内容を再検討するなど、視聴者に意図が伝わりやすい番組づくりに努めます。

●保育園児、小学生の様子撮影に、偏りがあり不満です。

➡保育園、小学校と連携しながら、できる限りすべての保育園、小学校への取材が行えるように調整を行います。また、番組構成についても偏りがないように撮影者への指導を行います。

●何時でも自由な時間に必要な情報がネットなどで手に入れば良い。特定の時間に情報発信しても聞いていないので、24時間見れるようにしてあればそれで良い。

➡町では、防災行政無線の他にも町公式ホームページ、さようチャンネル、LINE、Youtubeなどで情報発信を行っています。しかし、町民の中には防災行政無線からの情報を頼りにされているかたも多いのが事実です。特に、インターネット環境のない家庭では、なくてはならない情報源となっています。防災行政無線の定時放送は、毎日朝と夜の決まった時間に流していますが、放送を聞き逃した場合でも、固定電話や携帯電話から防災行政無線の放送内容が確認できるサービス【☎82-2528】があります。また、戸別受信機には留守録機能があり、後から放送内容を確認することができますのでご活用ください。

(次ページに続く)

●火災発生時のあのゆっくりとした合成音声は何とかありませんか！？

➡音声合成による放送は、火災発生時に西はりま消防本部から町防災行政無線を経由して流れる仕組みとなっています。そのため、緊急時の自動音声での放送となっており、通報から時間をかけることいち早くお知らせする仕組みとなっています。揖保川からの長距離を専用回線で通信しており、物理的な距離による影響があると考えておりますが、引き続き音声改善に取り組みますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

なお、火災などの確認は、Eメール『さよう安全安心ネット』に登録すると情報が自動で配信され、ご確認いただけますのでぜひご利用ください。登録方法は、インターネットで“佐用安全安心ネット”を検索し、登録フォームからQRコードを読み取るか、sayo@bosai.net宛に空メールを送信してください。

●行政無線を毎日朝晩きいています。ベテランの職員のかたの放送だけでなく若い職員のかたや男性の職員のかたの放送もあり、メリハリがあって聞き流さず注意して聞く事が出来ます。このままいろいろなかたの放送が続くといいと思います。

➡町では、放送担当者が不在の場合でも、他の職員が適切に放送できるように、できるだけ多くの職員のアナウンス研修を実施しています。また、研修の一環として実際に防災行政無線放送を行っています。今後も、より多くの職員が伝わりやすい放送ができるように研修を継続する予定です。今後もお気づきの点がありましたら、いつでもご意見をお寄せください。

●Jアラートのテストは必要なのでしょうか。

➡Jアラートは、通信衛星と全国の市町村の防災行政無線等を利用し、国民にとって重要な緊急情報を瞬時に伝達する国の「国民保護サイレン」システムです。いつどこで起こるか分からない大規模災害や、武力攻撃事態などが発生した際に確実に情報をお伝えするため、定期的な試験放送が行われています。国民の生命と財産を守る重要なシステムの稼働試験ですので、みなさんのご理解をお願いします。

●佐用チャンネルの利用料を無料にしてほしい。

➡「佐用チャンネル」は、姫路ケーブルテレビ（株）が提供する放送サービス【基本コース：月額500円（税別）】の中で視聴が可能です。この基本コースは「佐用チャンネル」のほかにもNHKや民放各局の放送が視聴できますが、姫路ケーブルテレビ（株）が放映権を購入し営利サービスとして提供していることから、町の権限で無料にできるものではありません。

今後は近隣市町の動向を注視しながら、各プランの料金設定についても必要に応じて協議を行っていきたいと考えています。

●町ホームページも観光協会のホームページも観光情報が少なすぎる。

➡町及び観光協会ホームページの掲載内容充実に向けて、関係課や観光協会など関係機関との連携をさらに深めながら、豊富な情報を素早くお届けできるよう魅力アップに努めます。

(次ページに続く)

- 防災行政無線いつも同じところに置いているのにその日によって電波が悪い。
- 佐用チャンネルで町からのお知らせや職員による放送はいいと思います。
- 防災無線で録音や電話にて放送が聞けることを見逃していて知りませんでした。情報の入手方法も、まとめて広報していただいたら、ありがたいなと思いました。
- 2回は繰り返して放送してほしい。ボタンを押せないため。
- ➡防災行政無線の電波の特性から、季節や気候、天気などの影響により安定していない実情もございます。戸別受信機からの放送が聞こえにくい場合は、サポートセンター【☎71-0996】または広報室【☎82-2549】までご連絡ください。後日サポートセンターの職員がお伺いし、調査及び修繕を行わせていただきます。また、放送を聞き逃した場合は、固定電話や携帯電話から防災行政無線の放送内容が確認できるサービス【☎82-2528】や、戸別受信機の留守録機能で確認することができますので、ぜひご活用ください。
- 防災行政無線放送は高齢者には聞こえのせいで誤って聞いてしまうこともあり、目で見ることが正確なこともある。
- ➡音が聞き取りにくい方や聴覚に障がいのあるかたには、放送内容が文字で確認できる「文字表示機」を貸与しています。希望される場合（ただし、身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者の属する世帯に限る（佐用町防災行政無線設備条例第3条第1項））は広報室までお問い合わせください。また、戸別受信機には留守録機能があり、放送内容を再度確認することができます。また、固定電話や携帯電話から防災行政無線の放送内容が確認できるサービス【☎82-2528】も提供していますのでご活用ください。
- 外にいればスピーカーの音が割れて聞きにくいです。
- ➡屋外スピーカーからの距離が近い家では、「うるさい」「音が割れる」といったご意見をいただきます。一方、スピーカーからの音が届く距離は200～300mであるため、距離が遠い家のかたからは「聞こえにくい」といったご意見をいただきます。このように狭い範囲でも相反する意見がありますので、町としては周辺地域（自治会など）全体の意見をまとめていただいた上で要望を確認させていただき、ボリュームの調整やスピーカーの向き変更などの改善を行いたいと考えています。

アンケート結果を受けて

今回のアンケート調査では、数多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考にさせていただく中で、あらためて時代の移り変わりとともにみなさんが必要とする情報も大きく変わっていることが分かりました。伝える側としても、「どんな情報が求められているのか」を敏感にとらえながら、常に最新の情報を分かりやすく発信していく必要があります。

近年、佐用町でも「佐用チャンネル」や「町ホームページ」、「LINE」、「YouTube」など、インターネットを利用したさまざまな方法で広報活動を行っていますが、広報紙や防災行政無線など従来の広報媒体の重要性を認識しつつ、若者からお年寄りまで一人でも多くの人に興味を持ってもらえるよう、充実した広報・広聴活動の実現をめざし、引き続き改善に向けた取り組みを進めます。